

生徒の活動を支援する教材作成の工夫について

広島県立竹原高等学校
教諭 仲本 和樹

はじめに

器楽指導を指導する際、教科書に掲載されている教材をそのまま指導できることが望ましいが、生徒にとっては難易度が高く、生徒に応じた教材を作成する必要が生じ、その都度教材を作成してきた。昨年までは手書きの楽譜も使用していたが、校内で「ICTを活用した授業づくり」の研修を受け、指導上の効果を十分に理解した上で音楽室にプロジェクターの設置を要望した。また、本校のオープンスクールで中学生を対象としたギターでの模擬授業用にパワーポイント教材を作成し、限られた時間で指導する効果にも充分に手応えを感じた。

1 ギターの指導において

音楽 I

1年生のほとんどの生徒が中学までにギターを弾いたことがなく、基礎・基本からの指導を始めるが、毎年8時間程度の指導で『Edelweiss』の二重奏ができるようになる。

※Gt.1を必修課題、Gt.2を半必修課題とし、Gt.2を弾けない生徒は弾けるところをチャレンジさせる。

★楽譜作成・指導上の工夫。

①Gt.1はミ～レの7音で演奏できる。(3フレット内で演奏できる※小指不使用でも演奏可)

②Gt.2(伴奏)は2音ずつでリズムも統一されており、指に負担の少ない押さえ方で作成。

③小学校の頃にリコーダーで演奏した生徒も多く、曲調をとらえやすい。

④二重奏をすることにより、3拍子の魅力、コード進行の重要性、楽曲の理解が深まる。

時	授業の流れ
1	基礎練習(構えから指のフォームまで) ※音階練習までの基礎練習は毎時間授業始めに必ず行う 右指の練習、左指の練習 音階練習…ド(5弦3フレット)～ラ(3弦2フレット) ★輪唱にチャレンジ。練習曲『カエルの合唱』
2	練習曲『チューリップ』 ★二重奏に挑戦『キラキラ星』

3	歌唱『Edelweiss』 音階練習…ド（5弦3フレット）～レ（2弦3フレット） 課題曲『Edelweiss』Gt.1
4	フル音階練習…ミ（6弦0フレット）～ソ（1弦3フレット） 課題曲『Edelweiss』Gt.2…3段目まで（ファ#ラの指使いの確認）
5	課題曲『Edelweiss』Gt.2…4段目まで 個人練習，全体で二重奏練習
6	ペアで二重奏練習 ※ペア同士でグループ練習等，工夫させる 双方が両パートを弾けるように教え合う。
7	発表会兼実技テスト
8	予備

Edelweiss

『Edelweiss』の楽譜を著作権の関係で割愛しています。

●ギター用楽譜をエクセルで作成する理由

- ①音楽作成ソフトを校内のパソコンにインストールする必要がない。
- ②どのパソコンでもすぐに修正できる。タブレット等でも表示しやすい。

音楽Ⅱ

音楽Ⅰでの習得をふまえ、アルペジオ（単音）による弾き語りに挑戦させる。音楽Ⅰの指導の際にも予告しておく。

★楽譜作成・指導上の工夫。

- ①使用コードも少なく（7つ）、コード・チェンジも比較的簡単。
- ②開放弦が多用できる調を採用。（歌の最高音がEになるのが課題）
- ③できるだけ抑える箇所を少なくする。（最大3カ所：F）
- ④押さえる箇所が1～3フレット内。
- ⑤セーハが無い。
- ⑥小指を使用しない。
- ⑦コード・チェンジの際、残留指が多くなるように工夫。

なごり雪

『なごり雪』の楽譜を著作権の関係で割愛しています。

音楽表現 (3年生選択科目)

ギター弾き語りの醍醐味「ストローク」に挑戦。

★楽譜作成・指導上の工夫。

- ①押さえる箇所が少ないコードを使用。
- ②使用コードも少なく (5つ), コード・チェンジも比較的簡単。
- ③コード・チェンジの際, 残留指が多くなるような工夫 (あえてセブンス・コードを使用)
- ④2小節1コードが基本な曲なので, 歌に集中しやすい。
- ⑤ストローク=1~3拍目を4分音符でダウン・ストローク, 4拍目を8分音符でダウン・アップ・ストローク。※4拍目でダウン・アップを入れることにより次の小節頭を意識しやすくなる。

※Gのコードは教科書で紹介されている1弦3フレットを薬指で押さえる押さえ方も紹介する。6, 1弦の3フレットが押さえられたら良しとする。

課題曲1 (必修課題)

夢の中へ

『夢の中へ』の楽譜を著作権の関係で割愛しています。

課題曲 2 (チャレンジ課題)

空も飛べるはず

『空も飛べるはず』の楽譜を著作権の関係で割愛しています。

時間に余裕がある場合、課題曲 2 の前に、ザ・ブルー・ハーツの『青空』に取り組ませる。

『夢の中へ』に B m 7 が加わるだけなので、難易度は少し高くなる程度。(Key=G へ移調)

※『空も飛べるはず』は『夢の中へ』と比べるとコード数はさほど変わらないが、コード・チェンジが多く難易度は上がる。しかし、生徒に身近な曲として、チャレンジしたがる生徒は多い。

2 篠笛の指導について

篠笛は音が鳴らせない，長い息が続かない，大きな音が出せない，タンギングをしてしまふ，息を止めてしまふ，跳ね指（打ち指）のニュアンスを習得できない，音にスピード感が無い，篠笛特有の音色にならない，高音が出ない，低音が不安定，指使いが覚えられないなど，課題が多く毎年指導に苦戦してはいるが，一番身近な和楽器としてこの数年取り組んでいる。

★楽譜作成・指導上の工夫。

①1 枠=1 拍とし，拍子感を持たせる。（工工四=三線用楽譜を参照）

②跳ね指（打ち指）を / で表示し意識を強める。

※運指表では赤字，赤マスで跳ねる指（打つ指）を表示。

③運指表を確認しながら，練習させる。

④原則，1 行一息とし，行と息の流れを意識させる。※曲の流れに応じて適宜ブレスは可。

音楽Ⅱ（チャレンジ課題）

篠笛運指表

指番号

歌口	7	6	5	4	3	2	1
	左手			右手			

(楽譜用数字)
低い 高い

七	7						1
六	6	7					1
五	5	7	6				1
四	4	7	6	5		3	
三	3	7	6	5	4	3	
二	2	7	6	5	4	3	2
一	1	7	6	5	4	3	2
	0	7		5	4	3	2

赤字=跳ね指、打ち指

六	み	2	い	六	に	2	か	六	み	2	の	2	さ
0	に	2	さ	四	お	3	ず	四	わ	3	や	2	く
3	ゆ	3	や	六	い	4	み	六	た	4	ま	3	ら
2	い												
0	か			七	ぞ	3	か	七	ず	3	も		
六	ん	2	い	六	い	2	く	六	か	2	さ	2	さ
		2	さ	六	ず	3	も	六	せ	3	と	2	く
		3	や	三	る	0	か	三	り	0	も	3	ら

ひくみ

音楽 I (必修課題)

七	七	六	六	六	六
六	七	六	六	五	六
五	2	五	六	六	六
六	七	五	七	七	五
六	六	五	六	六	六
五	六	五	六	六	六
六	五	五	六	六	六
六	五	五	三	三	三
五	五	五	三	三	三

ひらいたひらいた

音楽 I (プラス課題)

三	二	三	二
三	三	五	三
五	五	六	三
五	六	七	五
五	2	七	六
三	七	六	六
六	六	六	六
五	六	五	五
五	五	三	三

竹田の子守唄

音楽 II (選択必修課題)

五	2	2	0	0
0	3	0	0	0
六	4	0	0	0
五	4	2	2	2
六	0	3	3	3
六	2	2	2	2
0	0	3	3	3
六	六	六	六	六

うさぎうさぎ

音楽 II (選択必修課題)

二	二	四	0
三	六	六	六
四	三	2	0
二	二	0	六
三	三	六	0
四	四	六	2
0	0	0	0
六	六	六	六

子もりうた

3 和太鼓の指導について

打楽器は音が出るまでのプロセスが少ない分、生徒の取組み度は毎年安定している。和太鼓への興味・関心も高い。生徒にはリズムが楽譜（唱歌）通り叩ける事よりも、体の使い方、姿勢、間の取り方、声（お囃子）の鋭さ、和太鼓特有のニュアンス、音質、迫力、を意識させた表現力を求め指導しているが、こちらの求めるレベルには達していないのが現状。

★楽譜作成・指導上の工夫。

- ①和太鼓のリズム・パターンを3種以内とし、**A**～**C**までは2小節目を統一。
- ②ダイナミックはあえて指定せず、意図を持って創作させる。
- ③演奏は横打ちで、1台に最大4名【外側がド（ドン）、内側がコ（コン）】
- ④テンポ表現や、音色の変化も工夫させる。

年 組 番 名 前 _____

和太鼓(創作)

地打ち
(締太鼓)

トン トコ トコトコ

ド=右(外)
コ=左(内)

A 右 左 | ドコドコ ドコドコ ドコドコ ドン || x 4

B | ドコドコ ドンコン ドコドコ ドン || x 4

C | (スツ)ドン (スツ)コン ドコドコ ドン || x 4

D | (スツ)ドン (スツ)コン (スツ)ドン (スツ)コン (スツ)ドン (スツ)コン (スツ)ドン (スツ)コン ||

B x 3 | ドコドコ ドンコン (スツ)ドコドン ||

} x 2

4 創作について

以前は始めに文字数に見通しをもたせながら作詞をさせ、その歌詞を基に旋律をのせ、コードを割り当てる手順で創作を指導していたが、曲にまとまりがなく、創作だけで時間がかかり、作品を演奏するための練習時間の確保も難しく、指導に苦戦していた。短時間で指導するためにも、演奏活動の延長上に応用として創作を加える活動に取り組ませている。

リズム創作課題（和太鼓）

基本リズム

① ♩ ② 〃 ③ ♪ ④ ♪

創作

和太鼓練習曲のリズムを参考に、リズム創作をさせる。シンプルでインパクトのある作品を目指す。基本リズムの④を意図的に使用させ、よりオリジナルな作品を作成させる。④は内側の手で打たせ、唱歌は「スッコ」で練習させる。

創作例

♩ ♪ ♪	♪ ♪ ♪	♩ ♪ ♪	♪ ♪ ♪		
/ 3 3	/ 4 4	/ 2	/ 3 3	/ 4 4	/ 2
♪ ♪ ♪	♪ ♪ ♪	♪ ♪ ♪	♪ ♪ ♪	♪ ♪ ♪	
4 3 4 3	4 4	2	4 3 4 3	2 3	2'

旋律創作（篠笛）

★楽譜作成・指導上の工夫。

a, b, c の 3 種類を組み合わせた 4 拍のリズムパターンを作成し，終始統一（固定）させる。※意図的に変化させることは可。1 行 8 拍の 4 行で起承転結を作成する。リズムパターンを統一（固定）することにより，音選びに集中させることができる。音階も五音音階を使用させ，どの音の組み合わせでも旋律として成り立つ。

手順①：音階を選ぶ




民謡音階： 三 五 六 七 二 三

都節音階： 三 四 六 七 一 三

律音階： 一 二 四 五 六 一

琉球音階： 一 三 四 五 七 一

手順②：リズムパターンを作成する

a = 	b = 	c = 
---	---	---

リズムパターン

--	--	--	--

手順③：リズムパターンに音階の中から音を選ぶ。

	結	転	承	起	
1					曲名
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					

作成上のアドバイス

- ①音階の持つ特徴を知覚させ、意図的に選択させる。
- ②リズム・パターンはできるだけシンプルで、特徴的で覚えやすいリズムを作成する。
- ③リズム・パターンの一部を、曲中に一部変化させるだけで、インパクト大。
- ④出だしの音を慎重に選ぶ。曲全体のイメージが決まる。
 - ※全体的に演奏しやすい音を選択する。
- ⑤3行目で高音を使用すると効果的。
 - ※3行目以外で高音を多用しないことにより、高音が出てきたときに印象が深まる。

作成例

手順①:音階を選ぶ

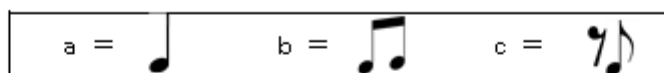
民謡音階: 三 五 六 七 二 三

都節音階: 三 四 六 七 一 三

律音階: 一 二 四 五 六 一

琉球音階: 一 三 四 五 七 一

手順②:リズムパターンを作成する



リズムパターン



手順③:リズムパターンに音階の中から音を選ぶ。

	結	転	承	起	
1	六	3	三	三	曲名
2	五 六	2 3	五 六	五 六	
3	・ 七	・ 七	・ 七	・ 七	
4	2	2	2	2	
5	六	3	六	七	
6	六 五	2 3	六 五	六 五	
7	五	5 3	五	・ 六	
8	三	2 七	三	三	

5 まとめ

これまで作成した自主教材や補助教材を活用して取り組んできた事をまとめたが、これからもさらに改善を加え、より効果的な指導ができる教材に仕上げたい。しかし、自主教材を扱うことにより教科書の内容を消化できないと本末転倒になる事も十分に危惧し、様々な事に留意しながら指導を深めたい。また、これらの教材が音楽教育の指導に少しでも活用され、指導に効果があれば嬉しく思います。